

1月16日（土）

猿田彦（さるたひこ）神社の例祭の日でした。猿田彦神は、天照大御神（あまてらすおおみかみ）の孫が天上より地上に降る途中にいて、天孫を無事に地上まで道案内した神様です。猿田彦神は「天之八衢神（あめのやちまたのかみ）」という別名があります。八衢とは、道が四方八方に分かれている所のことです。どの方向に行けば良いかを教えてくれます。

秋祭りのお渡りの先頭あたりに天狗のような面を持つ人がいます。これは天狗ではなくて猿田彦神です。本社の御祭神（井上内親王）を御旅所まで道案内しています。

猿田彦神社は道案内の神様ということで、旅行などの安全、人生の岐路に立ったときのお導きなどの御利益があります。

この神社の境内には白梅の木が一本あります。毎年1月16日には開花します。例年は1輪か2輪なのですが、今年は20輪以上咲いていました。年末からの冷え込みのあと、2、3日前の春のような温かさで一気に咲いたのかもしれませんが。猿田彦神は、春への道開きを梅の花の開花で示してくれています。

